

報道機関 各位

八幡高校生が牽引！ 産学官民金連携で実現する『鐵あかり』を開催

鐵製ランタン
100個！



福岡県立八幡高等学校(学)は、地域企業(産)、行政機関(官)、民間企業(民)、金融機関(金)との緊密な産学官民金連携により、八幡の歴史と平和への願いを融合させたイベント「鐵あかり」を小伊藤山公園にて開催いたします。

本イベントは、八幡高校の生徒が主体となり、以下の連携の下で企画・実行します。学が企画・運営を担い、産がオリジナル「鐵あかり」ランタンの制作を協力、官が公園の利活用を調整、民がイベント全体の実行を支援し、金が資金計画のアドバイスを行うという、多岐にわたる連携の下で実現に至りました。

八幡の歴史を未来へつなぐ「鐵あかり」は、18時15分にその灯をともします。暮れゆく空の下、無数の光が公園を満たす幻想的な光景、この画期的な地域連携の取り組みに、ぜひご注目ください。取材にお越しの際は、高校生が直接イベントへの想いや背景についてお話をさせていただきます。

※「鐵あかり」に込められた生徒の想いやイベントの詳細は、別紙企画書をご参照ください。

1 開催概要

- 日時 令和7年12月 6日(土) 18:00～21:00
令和7年12月13日(土) 18:00～21:00
※雨天時は両日とも翌日(12/7、12/14)に順延
- 場所 小伊藤山公園(八幡東区尾倉2丁目 8-34)
- 主催 福岡県立八幡高等学校
- 共催 KEYAKI TERRACE YAHATA、北九州市
- 協力 株式会社榎本商店、福岡ひびき信用金庫



鐵あかりイベント
風景

2 八幡高校夢現∞プロジェクトの概要

八幡高校の2年生が学校や地域が抱える課題を解決するために、自分たちで考え行動をする探究学習です。「八幡駅前の魅力を引き出す」というテーマに着目し、主体的に計画・推進しているものです。高校生たちは、今年春に八幡駅前開発株式会社が主催した焚き火イベントに参加した経験を活かし、今回の「鐵あかり」の企画・運営の中心的な役割を担っています。

【お問い合わせ】

◇本件全体について
都市戦略局都市再生企画課
担当:平野(課長)、坂元(係長)
TEL:093-582-2502

◇鐵あかりの詳細について
『鐵あかり』実行委員会 窓口
KEYAKI TERRACE YAHATA 事務局
TEL:093-681-0697

鐵あかり企画書



福岡県立八幡高等学校
夢現∞プロジェクト 鐵∞チーム

「夢現∞プロジェクト」とは？

夢現∞プロジェクトとは、八幡高校で実施している探究活動で、「地域や人々の抱える課題を解決するために、私たちにできること」について生徒が向き合い、解決策を検討するプロジェクトです。

私たちは1年生の頃から今まで、「八幡駅前の魅力を引き出す」というテーマで、1年以上の時間をかけて探究活動に取り組んでいます。



今回取り組んでいる内容は、北九州市が推進するSDGsとも関連があり、その中でも、11番「住み続けられるまちづくりを」の達成に大きく寄与すると考えています。

企画の目的と全体像

フィールドワークで八幡駅前を歩いた際に、10代～20代の若者の姿が見当たらず、少し寂しい印象を受けました。

一方で、八幡のまちの歴史や、静かで暮らしやすい雰囲気に魅力を感じ、そのことをもっと沢山の方々に知ってもらいたいと思い、鉄製のランタン「鐵あかり」を用いたイベントを発案しました。

本イベントはきっかけに過ぎません。将来的には、歴史をつなぎ、自然と共存し、今ある静かで穏やかな景観を保ちながらも、世代を超えて多くの人に足を運んでもらえるようなまちづくりを目指しています。

「鐵あかり」とは？

「鐵あかり」とは、鉄製のランタンに火やLEDライトを入れて展示をし、その灯りを参加者みんなで楽しむイベントです。

本イベントの企画に当たって、私たちは「鐵」にこだわり、「鐵あかり」を製作しています。

その背景には、1901年に操業を開始した八幡製鉄所があります。戦前から戦後復興まで、日本の歴史に深く関わってきた八幡製鉄所の存在は、現在でも多くの人々にとって八幡のまちの象徴となっています。

そんな八幡の発展に深く関わりのある「鐵」を素材としたランタンの灯の暖かさや揺らぎに癒され、まちの人々が心地よい時間を共に過ごすことができる場を創り出したいです。

隣の人とお話をしたり、ゆったりとした時間の流れに身をまかせたり、思い思いに楽しんでいただければ嬉しいです。

「鐵あかり」デザインについて



太陽



スペースワールド
にあったロケット



太陽と月



藤の花

◀試作品
全8種類のデザインを考案。
2種類の鐵あかりを製作。

①デザインへのこだわり

八幡の街並みをテーマとしたモチーフをデザインに取り入れました。

戦没者の鎮魂の意味も込めた鐵あかりの光が、辺りを幻想的に照らし、子供から大人まで楽しめるイベントにしたいという思いでデザインしました。特に"8"のデザインには、戦後"八"十周年、"八"幡高校、夢現∞プロジェクトA10班"八"名ということを元にデザインしました。

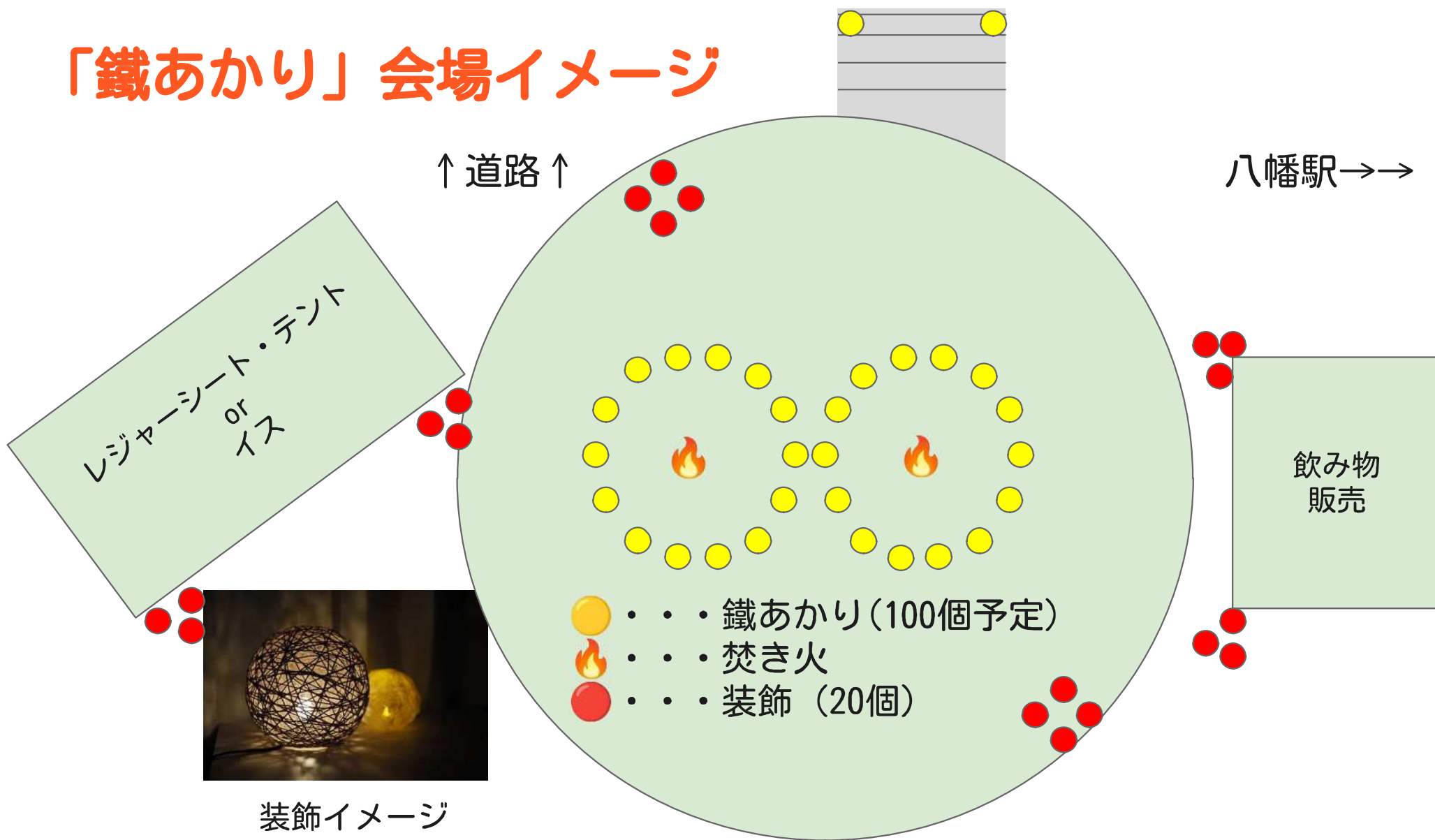
②組み立て式であることの良さ

持ち運びが容易である。保存・管理をする際に場所を取らない。

③鉄製であることの良さ

鉄製にすることで八幡が鐵のまちであることを若い世代にも知ってもらえる。丈夫で長持ちする。リサイクル工程が確立されているため、プラスチックなどに比べてリサイクルしやすい。

「鐵あかり」会場イメージ



私たちの思い

- ①「鐵あかり」を通して、まちの魅力をより引き出し、区内外問わず、幅広い世代の方々に八幡のまちに興味をもってもらうきっかけをつくりたい。
- ②1945年8月8日の八幡大空襲の際に小伊藤山防空壕で起こった悲劇や、戦後復興の歴史を知るきっかけをつくり、戦後80年の今あらためて平和の尊さを感じてもらいたい。
- ③地元の皆様に協賛という形でご協力いただき、身近な素晴らしい地元の人々や団体について知ってもらう機会をつくりたい。

資料: 鐵あかり制作に協力頂いた地域企業「榎本商店」



ASOBIBAは、若松区 株式会社榎本商店から生まれたブランドです

株式会社榎本商店

- ・所在地 北九州市若松区安瀬1-23
- ・代表取締役 濱屋 慎吉
- ・従業員数 28名
- ・事業内容 金属加工業（建築、造船、産機向け）
- ・営業品目 鉄・ステンレス・その他非鉄など
- ・加工技術 シャー・ガス・プラズマ・レーザ
曲げ・開先・溶接・タッパなど



地元北九州に根ざして75年——
地域のものづくり文化を守りながら
鉄の新たな価値創造に挑み続けています。

次世代へ、そして100年企業へ
『心にのこるものづくり』を通して、
これからも期待される企業を目指します。

